

事務事業名		相談支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 相談体制の充実					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4011	一般	3	1	2	相談支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～		年度	根拠法令 条例等	障害者総合支援法、佐野市障がい者相談支援事業実施要綱		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業
								任意的事業・義務的事業	義務的事業		
							実施方法		全面委託		
							事業分類		相談事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
障がいのある人や家族等からの相談に応じ、便宜供与や権利擁護のために必要な援助を行うために次の事業を委託して実施。 ①障がい者相談支援事業 ②相談支援機能強化事業 ③住宅入居等支援事業 ④成年後見制度利用支援事業		事業概要と同じ。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		相談件数	件	13,951	21,527	14,700	14,900	15,100
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
障がい者(児)とその家族。		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		相談支援を必要とする件数	件	13,951	21,527	14,700	14,900	15,100
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
相談体制を充実し、地域で自立して生活できる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		相談支援件数/相談を必要とする件数	%	100	100	100	100	100
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
安心して生活できる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		相談支援(指定特定含む)事業所数	箇所	3	6	4	5	6
		虐待相談受理件数	件	0	2	0	0	0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円	3,790	4,857	4,284	4,284	4,284	4,284	4,284	4,284	4,284	
	県支出金	千円	1,895	2,429	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142		
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	18,119	19,617	20,477	20,477	20,477	20,477	20,477			
	事業費計(A)	千円	23,804	26,903	26,903	26,903	26,903	26,903	26,903			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	23,804	事業委託料	26,903	事業委託料	26,903	事業委託料	26,903	事業委託料	26,903
	人件費	人	1	1	1	1	1	1	1			
	のべ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60	60			
人件費計(B)	千円	233	236	236	236	236	236	236				
トータルコスト(A)+(B)	千円	24,037	27,139	27,139	27,139	27,139	27,139	27,139				

事務事業名	相談支援事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年9月までは、県と市が共同で委託していた事業、平成18年10月から障害者自立支援法が完全施行、身体・知的・精神の相談支援事業を市が委託して実施。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年10月から一般的な障がい者の相談支援事業の予算は、交付税措置、相談支援の機能強化部分について補助制度が適応。平成22年12月に障害者自立支援法が一部改正され、平成24年4月から市町村にサービス等利用計画を作成など相談支援の充実。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会からは、障害者自立支援法の施行に伴い、相談支援事業の予算の確保の要望。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	法人と協議し、1法人についてはサービス利用計画策定と一般相談を分離し、相談支援の効率を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	相談支援体制を充実することは、適切な障がい福祉サービス等の利用に繋がり、障がい児・者が地域で自立して生活を送るためには重要であり、市の施策体系に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	障害者自立支援法で、市町村が行うもの(委託を含む)と定められている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地域における福祉サービスの相談体制を充実して、障がい者(児)とその家族が地域で安心して自立して生活できるようにする。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	計画相談と一般相談を分離することで、事務分担の合理化を図った。成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の中心が、相談員の人件費であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	相談支援は必要ようとする市民に対して行うもので、サービスではないので受益者負担はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
相談を必要とする方がいなくなれば終了となるが、現実的にはあり得ない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			